

消防士はなぜ地方によって給料が違うのか。

熊本県立大津高等学校 1年 社会ゼミ

1 研究の概要

動機

・自分の二個目の将来の夢でもあるので、もしなるとしたときに大事だと思ったから。
・消防士は地方公務員なのでやはり地方によって給料が違うのかと思ったから。

・日本の平均給料と消防士などの公務員の給料の差が気になったから。

企画内容（仮説）

- 1) 火災等の件数が多いところが高い
- 2) 人口の多いところが給料が高い

活動プラン

- ・どこの県の給料が高いのか調べる。
- ・地方公務員の給料の平均給料を調べる。
- ・給料の高い地区の給料の特徴や共通点を調べる。

2 方法

方法・・・ 身近にいる消防士に聞いてみる。パソコンなどを使って調べる。給料ランキングのものや比較の棒グラフのようなものと身内の消防士の話を中心に調べる。

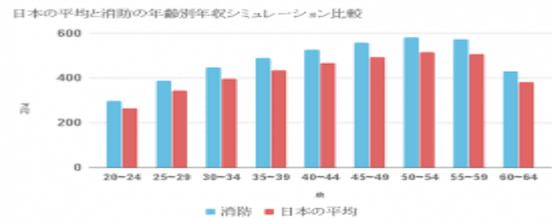
3 結果

・地方公務員の平均年収は630万だと分かった。
・給料が高い県を調べると

一位、東京消防庁（東京都）二位、豊中市消防局（大阪府）三位、大和市消防本部（神奈川県）となった。

消防士の給料について

各自治体で定められた「給料表」によって給料が決まる。年齢・勤続年数とともに給料が上がっていく。公務員なので全体的に給料の差はなさそうだが、消防士の給料は意外と差があり、1位の自治体と最下位の自治体では約144万ほど差がある。



出典：

<https://shukatsu-mirai.com/archives/71616>

4 考察

調査結果から分かるように都会の所の方がやはり高く、福利厚生がなっている所でも高いと思った。共通点としては出勤回数の多さやスケジュールのハードさもあった。また、平均年収が630万と多く、町の方々を命がけで守っているの給料も安定しているのかなとも思った。そして、逆に少ない所は休みが多く出勤回数も少ないことが分かった。

5 今後の展望

今回の研究を通して、企画内容を抽象的にし、動機に沿ったりしてつくる。また、活動プランの中でもどのようにしてポイントをしっかり抑える文にできたかというところできなかったの、見せ方にも改善したいところがあった。

6 参考文献

・街スポ福岡東

<https://msfuk.jp/schedule/%E9%98%B2%E7%81%BD%E3%81%AE%E5%AD%A6%E6%A0%A12022/>

・消防士になりたい人のための採用試験攻略サイト

<https://shouboushi.com/>

・福岡市

https://www.city.fukuoka.lg.jp/syobo/bousai_suishin/bousaicenter/centerinfo.html

・生涯学習のユークキャン

https://www.u-can.co.jp/course/data/in_html/1295/column/column02.html#section02

・就活の未来

<https://shukatsu-mirai.com/archives/71616>

